

明洋中学校から

二学期は生徒たちにとって、一年の中でも一番充実した時期で、実りある教育活動を展開しています。その一部分を紹介します。

◇教育講演会を開催しました

11月2日、本校生徒、保護者、地域の方々が参加のもと、明洋中学校、芳養・西部・中部公民館の4者共催の教育講演会を開催しました。

御坊市の柳岡克子さんをお招きし、「生きている喜び」という題でご講演をいただきました。

柳岡さんは、生まれながら両手足に重度の障害を持たれていますが、ご自身の前向きな生き方が紹介され、生徒たちに生き方のご示唆をいただきました。

人は一人で今までに育ってきたのではない、家族や周りの方々の支えがあったからこそで、感謝をしなければならない「あいさつ」は“あかるく”“いつまでも”“人よりさきに”“つづける”ということ、“ありがとう”“いただきます”“うれしい”“えがお”“おかげさま”この「あいさつ」を大切にしたいと話がありました。

生徒たちは「生きている喜び」について、改めて振り返る機会になったのではないかと思います。



◇世界遺産サミットに参加しました

11月13日、紀南文化会館で開催された、「第2回世界遺産サミット」で、本校生徒9名が次世代の取組として、熊野古道語り部ジュニア英語バージョンで発表をする機会を得ることができました。

世界遺産を有する海外の関係者、自治体の関係者等が多数出席するなか、生徒たちは緊張しながらも、校区の「芳養王子、一里塚、潮ごり浜、出立王子、道標」、田辺の三大偉人等、映像を使いながら紹介しました。生徒たちは落ち着いて見事に発表し、参加者から大きな拍手をいただきました。

◇プロムナードコンサートを開催しました

11月14日、紀南文化会館にて、第18回明洋中学校吹奏楽部プロムナードコンサートを開催したところ、約600名の方々にご来場いただき、盛會に開催することができました。

ご来場いただきました地域、保護者のみなさま方にお礼を申し上げます。また、本コンサートを開催するにあたり、たくさんの方々からご支援ご協力をいただきましたこと、あわせてお礼申し上げます。

吹奏楽部員たちは、早朝や放課後の練習、また休日を返上しての練習で積み上げてきた成果を一生懸命、披露させていただきました。

コンサートでは、様々な工夫した演出もあり、部員たちもご来場いただいた方々も共に楽しむことができました。

◇県駅伝競走大会に出場しました

11月15日、紀美野町にて開催された、和歌山県中学校駅伝競走大会に本校生徒たちが出場しました。

新人戦が終了後、全校生徒に希望者を募り、駅伝部を発足させ取組を始めました。放課後、各自が所属している部活動を終了後、練習を積み重ね当日の大会に臨みました。

その結果、男子は総合3位入賞、女子は29位と健闘しました。男子は11月29日（日）に奈良県橿原市総合運動公園で開催される、近畿中学校駅伝競走大会に出場することになりました。



◇職場体験学習を実施しました

2年生は市内38所の事業所の協力を得て、三日間の職場体験学習を実施しました。

生徒たちは、体験した仕事の理解や勤労の意義や重みについて、肌で感じとってくれたことと思います。

ご協力いただきました、各事業所のみなさま方にはお礼を申し上げます。

中部公民館だより

平成27年12月号

発行：田辺市中部公民館

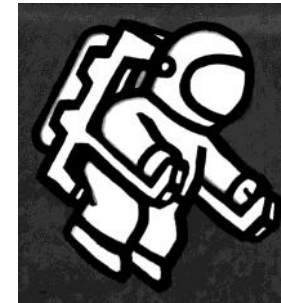
田辺市中部公民館事務局

〒646-0036

田辺市上屋敷一丁目2-1（田辺第一小学校内）

館長 橘 勲 主事 宮原 政典

TEL 22-0009 FAX 34-2914



主催／中部公民館・中部公民館読み聞かせサークル リーブル

冬のおはなし会 ☆

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

☆

とき

12月24日（木）午後2時30分から

（約1時間程度）

ところ

中部公民館 大集会室

■お問い合わせ：田辺市中部公民館 TEL 22-0009

子どもたちへ…

だんだん寒くなってきました。

クリスマスも、もうすぐです。

終業式の午後、おはなしを一緒に楽しみませんか。

おはなし、そして本の読み聞かせのあと、夏の夜のおはなし会で、大人気だった“光る”シアターも登場します。

冬の楽しいおはなしがいっぱい!!

みんなきてね。

季節性インフルエンザにご注意

今年もインフルエンザの流行する嫌な期間がはじまりました。インフルエンザは、普通のかぜ症候群とは違い、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。

1 インフルエンザの症状

インフルエンザの潜伏期間（感染してから症状が出るまで）は24～48時間と短く、典型例では、突然の38度以上の高熱に始まり、頭痛、喉の痛み、関節痛、倦怠感などの全身の症状が現れます。小児ではまれに急性脳症を発症したり、高齢者や免疫力の低下している方の場合は、肺炎を併発して重症化することもあり、最悪の場合死に至ります。

2 予防の方法

インフルエンザに感染する主な経路は飛沫感染と接触感染です。

①飛沫感染とは、インフルエンザに感染した人の咳やくしゃみによって、ウイルスを含む飛沫（すごく細かい水滴）が飛散し、これを健康な人が鼻や口から吸い込んで、ウイルスが粘膜に接触することによって感染する経路を言います。②接触感染とは、ウイルスの皮膚や粘膜への直接的な接触、あるいは汚染された食品やドアノブなどを介した間接的な接触によって感染する経路のことを言います。

インフルエンザを発症するか否かは、自分の免疫力とインフルエンザウイルスとの勝負です。日ごろから十分に睡眠をとり、十分な栄養と休養をとることで体力や免疫力を落とさないようにしましょう。また、人の多い場所ではマスクを使用したり、室内では適度な換気をするとともに、温度と湿度を調整しましょう。こまめなうがい、手洗いの励行も大切です。

みんなで元気に年末年始を迎えましょう！

田辺第一小学校・中部公民館共催

『第6回 大人も子どもも地域作品展』を開催しました

11月14日・15日の両日、田辺第一小学校・中部公民館共催による「第6回 大人も子どもも地域作品展」を、田辺第一小学校体育館及び中部公民館で開催しました。

今回も、中部公民館地域の方がたの日ごろの文化活動による成果作品、田辺第一小学校全児童と明洋・高雄両中学校生徒の代表による学習成果作品など、多くの優れた作品が展示されました。

両日ともに大勢のみなさんのご来場によって、広い会場にスッキリと展示された格調の高い作品展が、たいへん賑わいのある交流の場となりました。

また、今年もボランティアのみなさんによるお茶席が設けられ、作品展に日本文化の香りを添えていただきました。

ご出展いただいたみなさん、ご来場いただいたみなさん、運営にご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。



祝 第1回 小泉町文化祭開催

11月3日（火）の文化の日に、小泉町会館で小泉町内会主催の「小泉町文化祭」が開催されました。

今年4月に就任した堀敏和会長と役員が中心となり始まった今回の企画は、小泉町の文化部員の地域への呼びかけが口コミで広がり、紀州でまり、書、水彩画、手工芸品など小学6年生から92歳までの方の作品が展示する催しとなりました。また、会場の一角には喫茶スペースも用意されていて、来場者の憩いと歓談の場となっていました。

開場と同時に町民が会場に集いはじめ、久しぶりの再会を懐かしむ様子や、思い出話に花が咲く様子など、この文化祭の家庭的で和気藹藹とした雰囲気を肌で感じ、どこか懐かしく温かい気持ちになりました。

堀会長は「今回の文化祭がきっかけとなり、町内会館を利用していただく機会を増やすことで、みなさんに気軽に利用していただける集いの場となれば嬉しいです。」と思いを話してくださいました。

文化祭は来年度も継続の方針ということで、こういった素敵な企画を継続していただくことが、地域のみなさんのつながりをさらに強めるのではないかと感じました。



八幡町町内会が防災倉庫を新設

～安心して暮らせるまちづくりを目指して～

八幡町町内会では、財団法人自治総合センターが募集した「コミュニティ助成事業」による宝くじ助成金を受けて、防災倉庫と防災資機材を整備しました。

防災倉庫は八幡神社に続く坂道の脇に新設されましたが、その倉庫の基礎工事は八幡町自主防災組織が自ら手がけました。急傾斜地に基礎を築くには高度な建築技術が必要ですが、鉄骨の溶接（組立）から設置、生コンを流し込んだあとの左官作業まで手際よく正確に仕上げられています。

完成した基礎の上に、後日設置された防災倉庫内には、いざという時に備えて防災資機材が収納されています。

このように、八幡町の自主防災組織では垣城光会長を中心に「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、自主的な防災活動に積極的に取り組んでいます。

また、万が一災害が発生した際に備えて、地域のみなさんが安心して暮らせるまちづくりを推進する取組みを年間を通じて実施しています。

みなさんも町内会が主催する避難訓練や各種行事への参加など、ご協力をお願いします。



基礎工事の様子



新設された防災倉庫

津波防災の日 田一小避難訓練

2011年3月に発生した東日本大震災の惨禍を鑑み、同年6月に制定された「津波対策の推進に関する法律」において、「稲むらの火」のモデルにもなった、安政南海地震の発生した日が11月5日であることに因み、この日を「津波防災の日」と定めています。

その11月5日に、田辺第一小学校は地震・津波避難訓練を実施しました。午前10時の緊急地震速報が校舎内に流れると同時に、児童は教諭の指示に従い、一斉に身の安全を確保します。その後、揺れがおさまったことを確認し、校舎の屋上を目指して避難を開始します。屋上に到着後、児童全員の安否を確認。避難完了まで約3分と円滑な避難が行われました。

最後に、豊田学校長から児童に地震発生直後に避難する際の注意点が示されました。その訓示の中で「みなさんが学校にいるときに地震が起これば、屋上に逃げますが、状況によってはもっと安全な場所に逃げることもあります。また、学校以外の場所にいるときに地震が起これば自分で判断して安全な場所に逃げなければなりません。地震が起こった時に、その場所からどこに逃げるのが良いのか、日ごろから考えてください。またお家に帰ってから家族で話し合いましょう。」と避難訓練だけで終わらせず、災害から生き延びるために普段から考えることの大切さを児童に語りかけました。

私たち大人も、よく出かける場所、職場、通勤・通学途中で地震が起こった場合、身の安全を確保しながら、どの経路でどの場所へ逃げるのか、一度、考えてみてはいかがでしょうか。



明るい笑顔まちいっぱい運動 あいさつ・声かけ運動定期運動日程



12/1（火） 1/8（金）

時間：午前7時30分～8時 場所：田辺第一小学校 正門及び裏門前ほか

学校・家庭・地域が一体となった安全なまちづくりを進めるため、みなさんのご協力をお願いします。